

中央防災会議「防災対策実行会議」（第3回） 議事概要について（抄）

1. 専門調査会の概要

日 時：平成25年12月24日（火）14：00～15：30

場 所：官邸2階大ホール

出席者：＜閣僚委員＞菅内閣官房長官（座長）、古屋防災担当大臣、関口総務副大臣、土井国土交通大臣政務官、

＜学識経験者委員＞大原、河田、河野、小室、野口、増田、村野、森各委員

＜その他＞杉田内閣官房副長官、西村内閣府副大臣、三ツ矢外務副大臣、亀岡内閣府大臣政務官、米村内閣危機管理監

2. 議事概要

（2）自由討議等

委員からの主な意見等は次のとおり。

■議題2：被災者行政に係る課題について（住まいの再建関係）

- 賃貸住宅の活用について、大規模災害の際には一つの都道府県単独では供給量が不足するため、県を超えた連携が必要。他都道府県と情報を共有できる情報フォーマットを作成すべき。
- 被災者生活再建支援制度について、引き続き都道府県と意見交換をさせてほしい。
- 被災者がまとまって避難できない場合のコミュニティ維持のため、バーチャルな情報システム空間を構築する仕組みについても検討してほしい。
- 支援者がいなければ生活できない方々をどこに避難させ、どのように支援体制を構築するかを検討してほしい。
- 避難の際のコミュニティの維持の観点から、市町村の末端まで情報が行き届くようにし、予防的に地域における議論を促す仕組みを構築する必要がある。
- 応急仮設住宅の建設について、応急仮設住宅の仕様に係る標準化した指導マニュアルの作成を行い、地元建築業者が参画できる仕組みを構築することも考える必要がある。
- 応急仮設住宅建設に際しては、出口戦略を見通した対応が必要。
- 応急仮設住宅に集会所や談話室を併設することは復興を考える中で重要であり、積極的な取組をお願いしたい。